

研究課題名	担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析
研究責任者名	大学院医系科学研究科 分子内科学 教授 服部 登
研究期間	2019年12月22日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者は以下の全てを満たす患者さんです。	<p>対象者は以下の全てを満たす患者さんです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年4月13日～2021年3月31日の間に、組織学的に非小細胞癌の診断が得られ、免疫療法投与を受けた患者さん E 疫-M326-12「呼吸器疾患における血液バイオマーカーの臨床的有用性に関する研究」に同意された患者さん
意義・目的	<p>がん細胞には、がん細胞だけが出している（発現している）“腫瘍抗原”、または“がん抗原”というものの存在がわかっています。また、がん患者さんの体内で、この一部のがん抗原に対して免疫反応が起こることもわかってきました。免疫療法は、かつてはこの免疫反応全体を上げるための治療薬の開発が中心でしたが、1990年以降は、がんが発現している“がん抗原”をめぐって、がん細胞だけを傷害できる免疫反応を高めるとい治療薬の開発に目が向けられるようになりました。</p> <p>この研究では免疫反応を調節しているメカニズムを検証し、新しいバイオマーカーを確立することを目的にしています。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）から得られた臨床データを利用して研究を行います。また、疫学研究E 疫-M326-12号「呼吸器疾患における血液バイオマーカーの臨床的有用性に関する研究」で同意を頂いて、血清を保存させて頂いている患者さんの血清を利用します。血清を用いてがん抗原に対する免疫の関係を調べます。また、臨床データとして年齢、性別、組織型を含む臨床情報、あるいは、今後診療の中で行われる治療の有効性・安全性の情報を使わせていただき、それぞれの関連を検討させていただきます。また、EGFR 遺伝子変異、通常の診療上で調べられるがん細胞の分子異常に関する情報も使わせていただき、それぞれの関連を検討させていただく予定です。個人を特定可能な情報は解析に用いません。</p>
共同研究機関	<p>川崎医科大学免疫腫瘍学（岡三喜男） 東京大学附属病院免疫細胞治療学（垣見和宏） 岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科（二見淳一郎） 大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学（和田尚） 鹿児島大学病院消化器内科（井戸章雄） 長崎大学病院呼吸器内科（山口博之、迎寛）、がん診療センター（福田実）、消化器内科（中尾一彦）移植・消化器外科（金高賢悟）泌尿器科（酒井英樹）、腫瘍外科（矢野洋） 日本赤十字社長崎原爆病院呼吸器内科（福田正明） 長崎県島原病院呼吸器科（木下明敏） 佐世保市総合医療センター呼吸器内科（早田 宏） 東北大学皮膚科（藤村卓）</p>

北里大学メディカルセンター（福山隆）
産業医科大学病院呼吸器内科（矢寺和博）
国立病院機構嬉野医療センター呼吸器内科（中富克己）
呉共済病院呼吸器内科（河瀬成穂）
産業医科大学若松病院呼吸器内科（吉井千春）
佐賀大学医学部附属病院呼吸器内科（荒金尚子）
宮崎大学医学部附属病院呼吸器内科（松元信弘・中里雅光）

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 呼吸器内科 教授 服部 登

試料・情報の他機関への提供および提供方法

川崎医科大学（研究責任者 岡三喜男）に試料・情報を集め解析します。

その際、個人を特定可能な情報は提供しません。

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に臨床データや試料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5196

広島大学病院呼吸器内科 教授 服部 登

研究機関：広島大学